

しゅっぱつしんこう

～あかちゃんえほんのたび 0・1・2～



出発の前に

0・1・2歳の赤ちゃんと楽しみたい絵本とわらべうたの本をご紹介します。赤ちゃんに絵本なんて・・・と思うかもしれませんが。赤ちゃんがハイハイをする先に絵本があり、タッチをした目の高さには絵本があれば興味を示します。絵本を手にしたら、読んであげましょう。本の読み聞かせは、親が自分に、愛情を降りそそいでくれているということを赤ちゃんが感じとれるすばらしいスキンシップの方法です。しかも、親も絵本の楽しさを味わい、わが子の成長を日々かみしめることができます。

気に入った本を何回も読んで、とせがむ時期があります。成長の証ですので、何度も読んであげてください。読む時、早さやリズムや感情入れに変化をつけると、読み手も毎回楽しめます。そのうち本の楽しさのとりこになり、自分で、面白い本を選んで読んでいることでしょう。

記憶に残る絵本の断片は、親子の一生の宝物になるはずですよ。

さあ、しゅっぱつしんこう！ 楽しい絵本がいっぱいありますよ。

いない いない ばあ

松谷 みよ子 ぶん／瀬川 康男 え
(童心社)

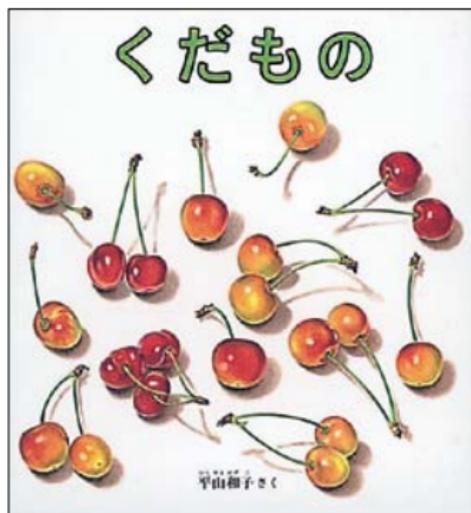


「いない、いない、ばあ」は、幼い子が誰でも喜んでする遊びです。それが絵本になりました。ページをめくる本の特性をうまくいかして、「いない、いない、ばあ」を楽しめます。また、登場する動物たちの表情の豊かなこと！

このシリーズには、この本のほかにも、「のせて、のせて」や「おふろでちゃぷちゃぷ」など、遊びながら楽しめる本がいくつもあります。

くだもの

平山 和子 さく
(福音館書店)



すいか、もも、ぶどう…絵本の中にはおいしいくだものがいっぱいです。さあ、どうぞ！本物と同じはっきりした絵柄で、皮をむいた状態もきちんと描かれていて、長い間子どもたちに愛されてきたのがよくわかる絵本です。

同じ幼児絵本シリーズには「いちご」「やさい」「おにぎり」など、身近な題材を扱った絵本があります。

どうぶつのおやこ

藪内 正幸 画
(福音館書店)



身近な動物や動物園にいる動物など、図鑑のように手抜きのないタッチで描かれています。字のない絵本ですが、よく書き込まれた絵の良さが伝わってきて、いろいろなストーリーを赤ちゃんに語ってあげられます。

親子の間に通い合う愛情や信頼を、彷彿とさせてくれる一冊です。

がたんごとん がたんごとん

安西 水丸 さく
(福音館書店)



赤ちゃんが、いつも使ったり、飲んだり、食べたりしているものが、4連結の汽車に乗ります。がたんごとんの響きに乗って、どこまで行くのかな？ 終点でみんな降りると、楽しいおやつタイムです。

がたんごとんと繰り返しが心地良くて、赤ちゃんがある日突然、「がちゃんごちゃん」とおしゃべりを始めるかもしれません。

くっついた

三浦 太郎 作
(こぐま社)



「きんぎょさんときんぎょさんがくっついた」どのページも「くっついた」の繰り返し。それが、なぜかとてもあたたかい気持ちになり、おはなし会での読み聞かせでも喜ばれている絵本です。

この絵本は著者のデビュー作で、2冊目の絵本「なーらんだ」も出ています。

ぴょーん

まつおか たつひで 作
(ポプラ社)



ページをめくると、いろいろな動物がピョーンと飛び上がります。ピョーンと飛び上がる開放感が伝わってきます。飛び上がる動物たちのユーモラスな姿におもわずほほえんでしまいます。

読んでもらった子どもも、読み手のあなたも、ピョーンと飛び上がってみたいくなる、そんな絵本です。

おててがでたよ

林 明子 さく
(福音館書店)



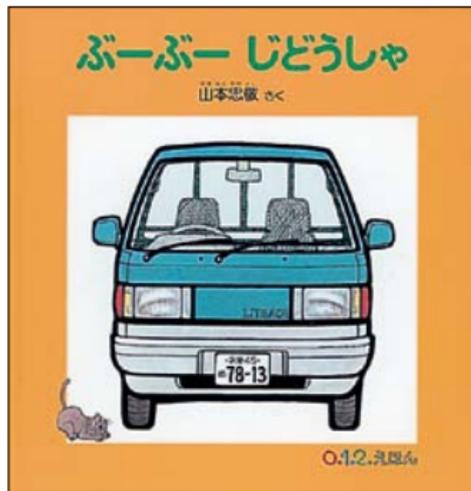
赤い布をかぶったあかちゃんが、おてて、あたま、おかおと順番に出してゆき、大きな服を着ます。やったあ！着られたときの満足そうな顔・・・

「くつくつあるけのほん」の第2巻です。ほかに「くつくつあるけ」「きゅっきゅっきゅっ」「おつきさまこんばんは」の3冊があります。どの本も、あかちゃんの色をひくはっきりとした色あいです。

ぶーぶーじどうしゃ

(0.1.2.えほん)

山本 忠敬 さく
(福音館書店)

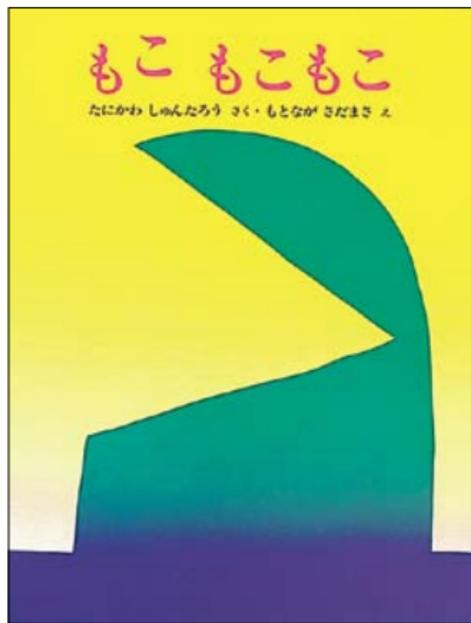


男の子が大好きな自動車がたくさん出てきます。コンビカーに乗った男の子がいろいろな車を案内してくれます。この子の大きさと比較すると実物の車の大きさがよくわかって、おもしろいですよ。ちょっと知識が入っています。

車に興味を持ち始めた子にぴったりの絵本です。

もこもこもこ

たにかわ しゅんたろう さく／もとなが さだまさ え
(文研出版)



「しーん」としたところから「もこ」と何かが出てきました。「もこもこもこ」と大きくなっていきます…。

ことばのおもしろさと絵のおもしろさで、子どもたちに人気のある絵本です。

同じ画家でこのほかにも「カニツンツン」「もけらもけら」などの楽しい絵本があります。

にんじん

(いやだいやだの絵本)

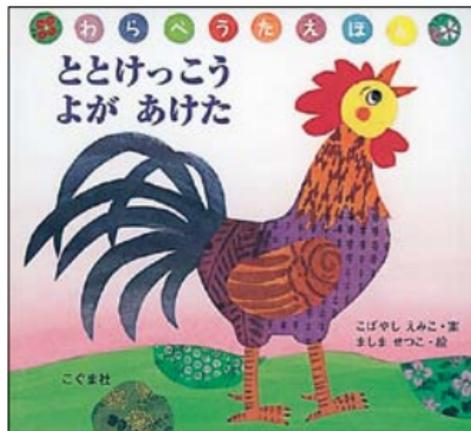
せな けいこ さく／え
(福音館書店)



「にんじんすきなこだあれ」動物たちがおいしそうににんじんを食べています。この絵本を見てにんじんを食べたいと思う子も多いことでしょう。このほかに「もじゃもじゃ」「いやだいやだ」「ねないこだれだ」があります。どの本も大好きな子たちがたくさんいますよ。この本を読んでもらって育った人も親になっているかな？

ととけっこう よがあげた

こばやし えみこ・案／ましま せつこ・絵
(こぐま社)



「ととけっこう よがあげた まめでっ
ぽうおきてきな」おかあさんのやさしい
声で、ひよこ・こねこ・こぶた…動物の
子どもたちが目をさまします。

わらべうたは、親子の関係をあたたか
いものにする力を持っているようです。
同じシリーズでこの絵本のほかに「まて
まてまて」「ちびすけどっこい」などがあ
ります。

おやすみなさいのほん

マーガレット・ワイズ・ブラウン ぶん/ジャン・シャロー え
いしい ももこ やく (福音館書店)



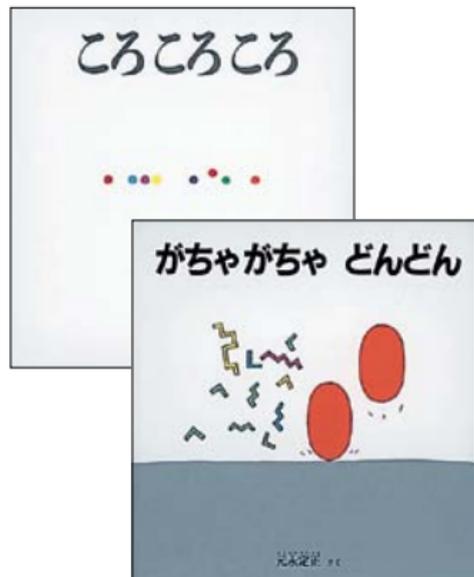
おひさまが沈み、外が暗くなると、小鳥も魚も羊も眠りにつきます。ふねも、車も飛行機もエンジンを止めます。

静かな夜がやってきて、子どもたちは安らかな眠りに落ちて行きます。

おやすみ前の落ち着いたひとときを、子ども達と一緒に過ごしてください。

「がちゃがちゃ どんどん」 「ころころころ」

元永 定正 さく
(福音館書店)



赤ちゃんは、リズムカルで心に響いてくる繰り返しの音が大好きです。

がちゃがちゃ どん どん かーん かーん ちん ちん りん りん どさん…などの楽しい擬声語に、いろいろな色といろいろな形がくっついていきます。

ころころころころころころ…いろいろな所を小さい丸がころがります。

絵本の中の色や形に合わせて読んであげましょう。

こんにちは

(くまくんの絵本)

わたなべ しげお ぶん／おおとも やすお え
(福音館書店)



おはなやとり、ねこ、いぬなどに「こんにちは」と言って歩くくまくん。最後には、パパにあいさつをして抱き上げてもらうと、とてもうれしそう。このほかに、パパが登場するくまくんの絵本「おふろだ、おふろだ!」「おとうさんあそぼう」があります。おとうさんも是非、絵本を読んであげてくださいね。

おんなじ おんなじ

多田 ヒロシ 作
(こぐま社)



「おんなじ」ということは、幼い子にとって、とてもうれしいものです。お友達のぶうとぴよんは、くつも帽子もおもちやも同じです。でも、ちがうものもあります。ちがうものは何か？

白地に黒の線で輪郭がはっきり描かれていて、みやすく、また、幼い子の心理をよくとらえていて、子どもたち、特に男の子に人気のある本です。

でてこい でてこい

はやし あきこ さく
(福音館書店)



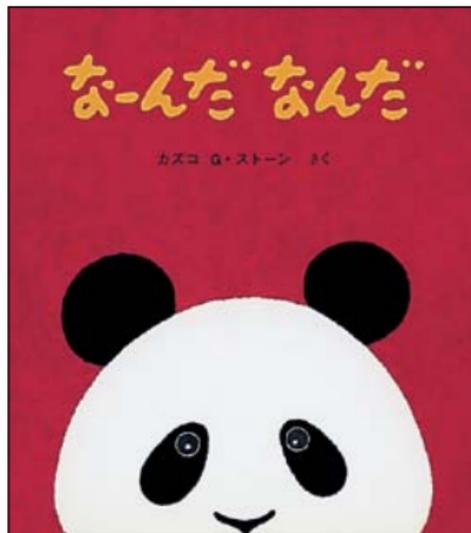
「でてこい でてこい」と呼びかけてページをめくると、カエルやうさぎなど幼い子にもおなじみの動物があらわれます。呼びかけのことばが調子よく、「何がでてくるのかな」という期待で読み進めます。

デザイン化された動物が、白い余白に、緑、赤、青で描かれた美しい本です。

なーんだなんだ

(とことこえほん)

カズコ G・ストーン さく
(童心社)



タイトルの「なーんだなんだ」の繰り返し楽しく、赤、黒、白のコントラストがおしゃれな絵本です。後の方で出てくる子パンダがとてもかわいい!! とことこえほんシリーズの1冊。ほかに「このおとだれだ?」「こわくないこわくない」「はいぞブンブン」「むしさんどこいくの?」などがあります。

だっこだっこねえだっこ

長 新太 さく
(ポプラ社)

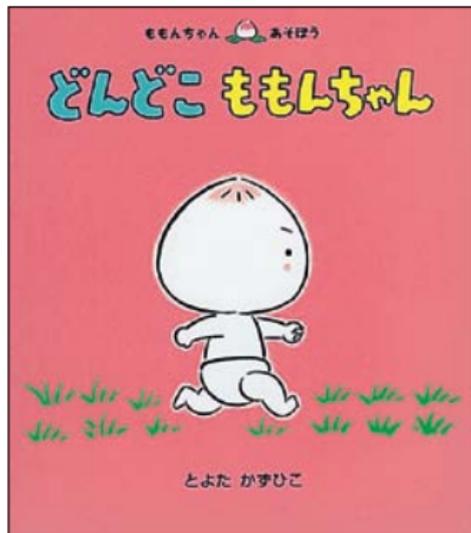


赤ちゃんはみんなだっこが大好きです。
猫の赤ちゃんも、犬の赤ちゃんも、たこの
赤ちゃんも…。

この絵本は長新太さんの赤ちゃん絵本
「ねえねえ・えほん」の中の1冊で、ほかに
「おんぶおんぶねえおんぶ」「あんよあ
んよねえあんよ」の2冊があります。

どんどこももんちゃん

とよた かずひこ 作
(童心社)

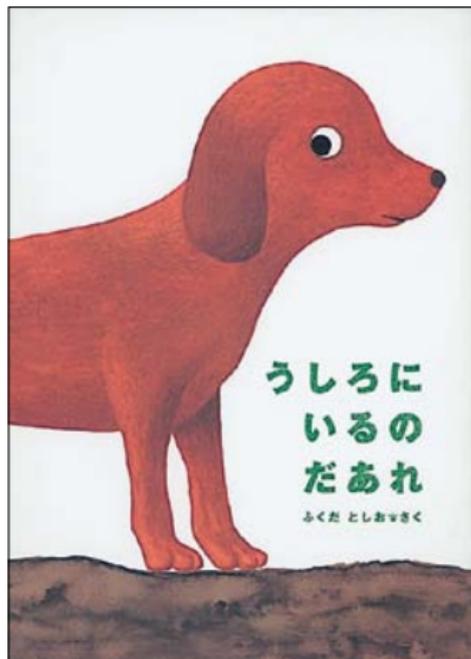


どんどこどんどこ ももんちゃんがいそいでいます。川をわたり、山をのぼり、くまさんも おしのけて。ももんちゃんが行こうとしているところがどこかわかったら、きっと親子で安心できることでしょう。

「ももんちゃん」のシリーズはこのほかに「ももんちゃん えーんえーん」など11冊出ています。

うしろにいるのだあれ

accototo著 (ふくだ としお+あきこ)
(幻冬舎)



ぼくのうしろにいるのだあれ・かめくん・かめくんのうしろにいるのだあれ…
うしろにいる動物を親子であてながら楽しんで読める絵本です。

「うしろにいるのだあれ」のシリーズにはこのほかに「のはらのともだち」「みずべのなかま」「うみのなかまたち」があります。

ちいさなうさこちゃん

ディック・ブルーナー ぶん／え
いしい ももこ やく（福音館書店）

うさこちゃん誕生のお話です。

ふわふわさんやふわおくさんの愛情に包まれて幸せそうなうさこちゃんに読者の心もなごみます。ブルーナーの「子どもがはじめてであう絵本」の第一作目。単純で輪郭のはっきりした絵は幼い子にも見やすいものです。この本を手始めに、お気に入りを探してください。



タンタンのぼうし

いわむら かずお 作
(偕成社)



おさるのタンタンは素敵なぼうしを持っています。エイッと投げると、必ず何かを捕まえてタンタンの頭にもどってくるのです。タンタンの表情がなんとも可愛く、いつしか、わが子と重なります。ほかにも「タンタンのハンカチ」など、タンタンを主人公にした本がありますので、そちらもご覧ください。

しろくまちゃんのほっとけーき

(こぐまちゃんえほん)

わかやま けん 作
(こぐま社)



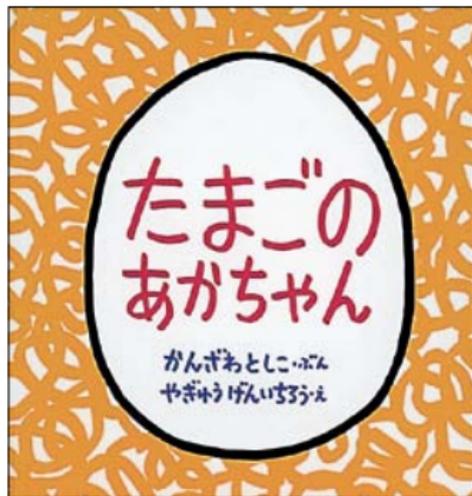
しろくまちゃんがほっとけーきを作ります。ぽたあん・ぷつぷつ・やけたかな・まあだまあだ・しゅっ・ぺたん・ふくふく・くんくん・ぽいっ・はいできあがり。おいしそうなにおいまでしてきます。このほかに「こぐまちゃんおはよう」「こぐまちゃんありがとう」が同じシリーズにあります。

身近な題材の絵本は、人気があります。

たまごのあかちゃん

(福音館の幼児絵本シリーズ)

かんざわ としこ ぶん/やぎゅう げんいちろう え
(福音館書店)



たまごのなかでかくれんぼしているのはだあれ？ まだ見たこともない生き物が登場します。くっきりした絵がとても楽しくて、自然にたまごから生まれる不思議を考えさせてくれます。「こんにちは」と絵に出て来るかわいらしい赤ちゃんたち。

大きくなって動物園に行った時、親子でこの絵本を思い出してください。

あいうえおはよう

にしまき かやこ 作
(こぐま社)



めずらしい刺繍の絵本。布の温かみが伝わってきます。三つ子のこぶたと一緒に五十音の言葉遊びをリズムに乗せて楽しみましょう！

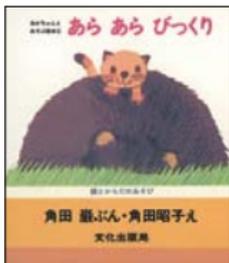
同じ三つ子のこぶたが登場する「ぼくたち1ばんすきなもの」も刺繍の絵本です。

ゆったり、のんびり、あかちゃんとの時間を楽しむのに良い絵本です。

あかちゃんとおそぶ絵本

全4冊

角田 巖 ぶん／角田 昭子 え
(文化出版局)



開いたり閉じたりする単純なしかけ絵本です。問いかけがあって、折ってあるページを開けると答えの文と絵が表われます。シリーズの一冊「あけてみたいな」では、「あけてみたいなかがみ」と問いかけ、開くとかがみに映っているぼくが描かれています。ぼくは「ぎんぎんきらきらおほしさま」と両手を上げています。ページの下段には、赤ちゃんとおそぶを使って遊ぶ動作も書いてあります。絵本で遊び、体でも遊べます。

子育てに生かせるわらべうた

子育てには、スキンシップがかかせません。子ども時代に覚えたわらべうたを、是非赤ちゃんに聞かせてあげましょう！ うろ覚えの方にピッタリの本があります。これから親になる方にもおすすめです。



「わらべうた」で子育て 入門編

安部 ヤエ 著
(福音館書店)



あまりにもピッタリですばらしいコメントがカバーに載っています。そのまま紹介します。

『どんな育児書よりも、まっとうで、わかりやすい、子育ての道しるべが、ここにある。』

目が見えはじめた赤ちゃんと正面から向き合って、目を見つめて、声をかける。そこから、「わらべうた子育て」は始まります。

おむつを替えるとき、あやすとき、しかるとき、寝かせるとき…、子どもと暮らすあらゆる場面に「わらべうた」が登場！「わらべうた」は、子どもと大人を楽しくつなげてくれる魔法のことばです。』

あかちゃんとお母さんの あそびうたえほん

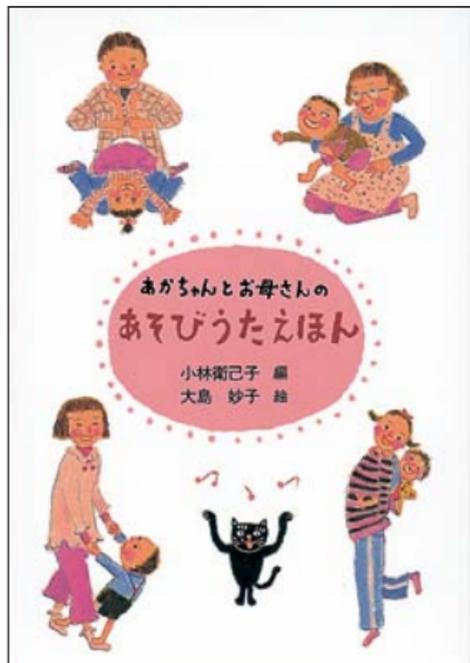
小林 衛己子 編／大島 妙子 絵
(のら書店)

昔からのわらべうたやあそびうたに、動作の絵がついています。うたに合わせて赤ちゃんに触れ合って遊びましょう。時には、絵本として読み聞かせをするように絵を見せてうたってあげても良いです。

おつむ てんてん みみ ひこひこ

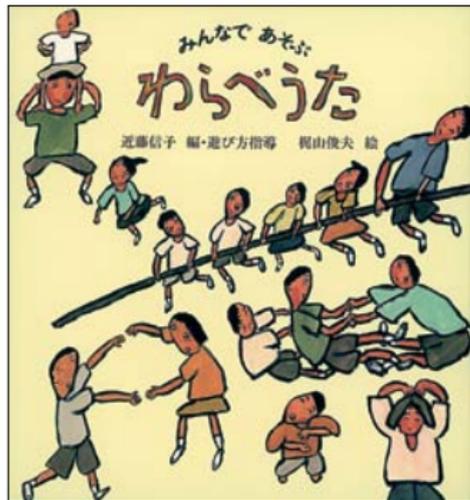
(遊び方)

おつむ てんてん 両手で頭を軽く3回たたく
みみ ひこひこ 両耳を軽く3回ひっぱる



みんなであそぶわらべうた

近藤 信子 編・遊び方指導／梶山 俊夫 絵
(福音館書店)



古き良き時代を思わせるわらべうたが取り上げられています。

わらべうたは、好きな節で歌ってあげて良いのですが、この本には楽譜も載っています。わらべうたを表現する子どもたちの姿が生き生きと描かれているので、この絵本も読み聞かせをして楽しむことができます。

さ く い ん

あいうえおはよう	P 25	だっこだっこねえだっこ	P 18
あかちゃんとお母さんのあそび絵本	P 26	たまごのあかちゃん	P 24
あかちゃんとお母さんのあそびうたえほん	P 29	タンタンのぼうし	P 22
いない いない ばあ	P 1	ちいさなうさこちゃん	P 21
うしろにいるのだあれ	P 20	でてこい でてこい	P 16
おててがでたよ	P 7	どうぶつのおやこ	P 3
おやすみなさいのほん	P 12	ととけっこう よがあげた	P 11
おんなじ おんなじ	P 15	どんどこももんちゃん	P 19
がたんごとん がたんごとん	P 4	なーんだなんだ	P 17
がちゃがちゃ どんどん	P 13	にんじん	P 10
くだもの	P 2	ぴょーん	P 6
くっついた	P 5	ぶーぶーじどうしゃ	P 8
ころころころ	P 13	みんなであそぶわらべうた	P 30
こんには	P 14	もこもこもこ	P 9
しろくまちゃんのほっとけーき	P 23	「わらべうた」で子育て 入門編	P 28

世田谷区立図書館利用案内

- ◎世田谷区立図書館の本を借りるには、「世田谷区立図書館共通利用カード」が必要です。
- ◎利用カードをつくと、
本は15冊、CDは6点まで、2週間借りられます。(無料)
- ◎0歳から利用登録できます。

あかちゃん向けおはなし会をやっています

内容は、

- ・あかちゃん絵本の読み聞かせ
- ・手遊びやわらべうた ・紙芝居

等です。

くわしい日時はお近くの図書館にお問い合わせください。

<http://libweb.city.setagaya.tokyo.jp/>

◎世田谷区立図書館一覧◎

中央図書館	弦巻3-16-8	Tel 3429-1811	Fax 3429-7436
梅丘図書館	代田4-38-10	Tel 3323-8261	Fax 3328-9417
世田谷図書館	若林4-22-13 世田谷合同庁舎1階	Tel 3419-1911	Fax 3413-7075
砧図書館	祖師谷3-10-4	Tel 3482-2271	Fax 3482-4603
奥沢図書館	奥沢3-47-8	Tel 3720-2096	Fax 3748-5183
玉川台図書館	玉川台1-6-15	Tel 3709-4164	Fax 3709-6186
代田図書館	代田6-34-13	Tel 3469-5638	Fax 3467-8084
烏山図書館	南烏山6-2-19	Tel 3326-3521	Fax 3326-9241
下馬図書館	下馬2-32-1	Tel 3418-6531	Fax 3424-0076
深沢図書館	深沢4-33-11	Tel 3705-4341	Fax 3705-1396
桜丘図書館	桜丘5-14-1	Tel 3439-0741	Fax 3439-2923
尾山台図書館	等々力2-17-14	Tel 3703-2581	Fax 3703-2624
上北沢図書館	上北沢3-8-9	Tel 3290-3411	Fax 3290-9891
粕谷図書館	粕谷4-13-6	Tel 3305-1661	Fax 3305-1664
鎌田図書館	鎌田3-35-1	Tel 3709-6311	Fax 3709-6344
経堂図書館	宮坂3-1-30	Tel 5451-0071	Fax 5450-1088

世田谷区立図書館



2017年10月発行

